

NIJINOKAI

SSTL

虹のかけはし

— 私たちからあなたへ —

No. 75

発行人：埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒333-0851 川口市芝新町15-9
アステール藤野1階

編集人：社会福祉法人 川越にじの会
障害者支援施設 にじの家
理事長 菊池 崇臣

〒350-0002 川越市古谷本郷992番地
TEL049-236-0666 FAX049-236-0665
http://k-nijinokai.com/
E-mail : niji@k-nijinokai.com
郵便振替口座番号 00180-5-657610
◎購読料 1部100円

平成から令和に移った
今年度を振り返って

理事長 菊池 崇臣

平成から令和に移った今年度もあつという間に過ぎ去ってしまいました。平成最後の2年間はずれぞれ1つずつ新たな事業を開始してきたこともあり、いろいろと慌ただしいことは当然のことと考えていましたが、今年度は具体的な新規事業を立ち上げる予定はなかったことから、もう少し冷静に法人全体を俯瞰する方たちで事業運営を進めていけるものと安易に考えておりました。しかし、始まってみれば既存事業の強化や見直し、今年度からスタートした第二期中長期計画に基づき、今後の新規事業を見据えた土台作りや地域における公益的な取り組みのさらなる充実の検討など、また違った形で慌ただしさを感じた1年になりました。しかし、見方を変えれば、新たに開始した事業こそありませんでしたが、当法人の将来に向けた大切な土壌づくりの年であったのかもかもしれません。良い土壌がなければ花は咲かず、実りはないわけです。今後は目に見える成果がなくても焦らず、たゆまず、怠らず、今後も一歩一歩積み重ねていきたいと考えております。

他方、毎年の課題の人材確保につきましても、新規事業の開設はなかったものの、既存事業の良質で継続的な運営のために必要なことです。前年度までの3年間は秋口までに一定数の新規職員を確保することができていたのですが、今年度は大苦戦でした。新卒・中途採用共に年明けまで採用活動を続けてきてやっと目標数に達することができました。福祉業界に限らず日本全国すべての業界で人手不足が声高に言われておりますので当然のことだといえます。しかしながら、そのような中でも採用活動に成功している法人さんがたくさんあるのも事実です。その違いは何なのでしょう？ お給料にそれほど差はないと考えますと、ぶれない法人のビジョン、働き甲斐のある職場づくりなど、お給料とは違った法人の魅力なのかもしれません。こちらにも根気よく土壌づくりをしていくこと以外に近道はありませんから、当法人の早急な課題として次年度以降取り組んでまいります。

今年度を振り返ってみますと、世界規模の温暖化による影響もあり、全国的にも台風による自然災害を受けて私自身も考えさせられる機会となり、そのお話をさせていただきまます。特に台風19号は日本各地に甚大な被害をもたらしたことは、ご承知だと思います。当施設の状況としては、作業棟の屋根の瓦の一部が飛ぶことや建物内に水が入り込み床が濡れる程度ですみましたが、その日の勤務者には遅くまでご協力をいただくことで対応することができました。

また、施設近隣の河川の荒川もこれまででない水量で危ない場所もあつたというお話も聞いています。施設において水害における災害避難マニュアルは今年度において行政の指導の下、作成をしておりますが、今回の台風の経験で行政からのメール連絡等や携帯からのエリアメールの情報なども精査して、利用者の方々に安全に避難する基準の見直しをする必要性や体制の整備についてもより具体的に考えていく必要があると感じました。他方、そのような災害に対して、被災した時に当事業所だ

けではなく役に立つ必要な物・道具については、改めて気付けられる機会となりました。

自施設以外では、同じ埼玉県内で被災された障害者支援施設への災害ボランティアを派遣する機会となりました。県内のどこでどんな状況というのがなかなか情報が入ってこない中で当法人も加入している埼玉県発達障害福祉協会などを通じて、他の施設の被害状況から、ボランティア募集の情報が入り、当法人も派遣をさせていただきました。被災された施設は、元の日常生活を取り戻すには大変な状況であり、利用者・職員の方々にご負担がある中で、少しでもお役に立てたらという想いで、ご協力させていただきました。

そこでは、多くの障害者をサポートする事業所が協力する姿を目にして、埼玉県発達障害福祉協会加入事業所の絆の強さと心の温かさを実感致しました。

また、被災された施設のお役に何かできることはないかというところで、その施設の洗濯物の洗濯・乾燥の代行と2名の利用者さんの受入れをさせていただきました。まだまだ災害における影響がある中で、今後も被災された施設・利用者の方へできるだけのことをしていきたいと考えております。

第27回・にじの家ふれあい祭り



今年度もにじの家の最大イベントである「ふれあい祭り」が11月3日（祝）に開催されました。天候が不安視される中、当日を迎えましたが、雨が降ることなく無事に祭りを開催することが出来ました。

今回も昨年度と同様に、どんどこ太鼓様による太鼓演奏・ダンロップスポーツクラブ南古谷様によるチアダンス公演・川越東高校吹奏楽部の皆様による演奏が行われました。どれも迫力のある素晴らしい内容であり、祭りを大いに盛り上げて下さいました。また、初の試みとして、中学生までを対象としたスタンプラリーを行いました。参加人数が集まるか、楽しんでもらえるか、とても不安でしたが、私たちの予想以上に盛り上がり楽しんで参加している子どもたちを見てとても嬉しく思いました。このような取り組みを今後とも続けて行ければと思います。

今年度も無事にふれあい祭りを開催することが出来たのは、ご家族の皆様・ボランティアの皆様・地域の方々のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

実行委員 増川さゆり
宮崎 勇真

ふれあい祭り収支決算書

(単位：円)

収入の部				支出の部			
御祝金	223,000	ジュース売り上げ	20,000	郵便料	20,160	厨房食材・小物	124,791
全本田労連埼玉地協	11,950	ゲームコーナー売り上げ	8,020	ちらし・材料費	62,788	音響レンタル	33,000
焼きそば売り上げ	51,100	作品販売	22,180	クレープ代	50,000	ゲーム景品	9,661
クレープ販売売り上げ	50,000	バザー売り上げ	31,100	ボランティア食事	10,600		
にじの家模擬店	62,850			ボランティア保険	1,000		
		収入合計	480,200			支出合計	312,000
						利益合計	168,200

新しい仲間が増えました。



にじの家にも新しい仲間が増えました。
早く仕事にも慣れてそれぞれの仕事を
全うしていきたいと思ひます。
よろしくお願ひします。

（紹介の項目について）

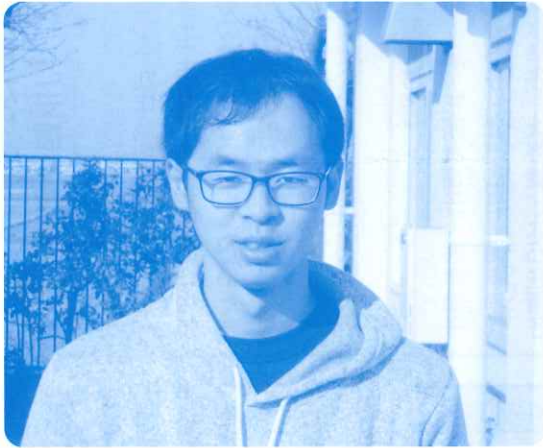
- ① 所属棟・役職・氏名
- ② 好きな言葉
- ③ 趣味・特技
- ④ 2020オリンピックにも
もし自分が出場するならばの
競技？

※ 下記以降は番号で内容を掲載
いたします



- ① B棟・生活支援員 千葉 浩志
- ② 物語はここから始まるのだ
- ③ 旅行・電車に乗ること
- ④ 水泳

にじの家で働いているB棟生活支援員の
千葉と申します。よろしくお願ひ致します。
この施設に入職しようと思つたきっかけ
は、大学時代に福祉の勉強をし、「人の役
に立ちたい、困っている人を助けたい」と
思つたからです。
色々分からないことや迷惑をおかけ
する事もあるかもしれませんがよろしくお
願ひ致します。



- ① 調理員 加賀和 隼
- ② 人を信じよ、しかし、その百倍も
自らを信じよ。
- ③ プロレス観戦、競馬
- ④ バトミントン

初めまして、この度ににじの家の調理員と
して入職させていただきました加賀和と申
します。私は今まで仕出し料理の方で調理
をしていました。未だ施設等の集団給食の
経験は浅く日々奮闘しております。まだま
だ先輩方にはご迷惑をおかけしますが、安
心で安全な食事を提供することが出来るよ
うに心掛けて頑張つていきたいと思ひます
ので、よろしくお願ひします。



- ① 送迎・支援員 竹本 俊哉
- ② 諦めない・努力
- ③ デッサン・絵・ウォーキング
- ④ アーチERY・硬式テニス

前から、知的と身体障がい者の方との関
わりがあったので、にじの家で働きたいと
思ひ入職しました。利用者の方の人数が多
いですが、全体的に携わつていきます。元
々実家の美容院で働いていましたが、体調
を崩したので閉め、知的・身体障がいを持
つ方々をサポートする側として頑張つて働
きたいと思ひ、にじの家の仕事にたどり着
きました。覚えは悪いですが、利用者の方
に関わつて学びたいと思ひます。



今号までにお世話にな った方々を紹介し ます

紙面の都合上、敬称は略せ
ていただきます。

《散髪》

関口留美子・横山晃・鶴見修・
鶴見貞哉

《棟・作業》

谷平秀子・北川真一

《作業でご協力頂いた企業》

川越アトレ 福祉の店・川越市
役所・高階市民センター内福祉
喫茶 茶房ひととき・南古谷大
樹作業所（株）ソーラ・立原電
機（株）泉名本店・角田屋酒店・
虎屋商事（株）・三陽工業（有）加
藤工業（株）日武設備（株）伸
栄製作所・グリーンロジテック
（株）・金子商店・春陽苑・えす
ぼわーる伊佐沼・日本サッシガ
ラス（株）・常磐工業（株）・ポプ
ラの樹（株）富士薬品・鈴木商
店・埼玉精機（株）川越工場・
みつばち作業所

〜にじの家の生活や行事に
おきましては、大変
お世話になりました。
心より御礼申し上げます〜



皆様からの ご支援に感謝して

二〇一九年八月一日から二〇一
九年十二月三十一日までに「川越
にじの会」にご寄付いただいた方
々のお名前を掲載致します。なお、
紙面の都合上、敬称は略させてい
たきます。

《一般寄付者》

清岡尚之・杉浦眞理子・根岸禮子
富岡みち子・武市ルミ・橋本静代
久保木幸子・大野睦・大石咲智子
江田あき子・植木道子・伊藤美保
ランチカフエくるみの木・全本田
労運埼玉地協・丸田寿夫・はなみ
ずきの会代表井口信子・黒沼史朗
常盤工業（株）・愛和会愛和病院（株）
ソーラ・嶋田剛・逆井克己

お知らせ

●退職しました

* 支援員 阿部晴香

令和二年三月三十一日付



季節の食材を使った献立

栄養士 松岡 知紀

春に旬を迎える季節の野菜をス
ーパー等で見掛けることが多くな
ってきました。今回は春の食材を
使った、ご家庭で作れる献立を紹
介したいと思います。

『春キャベツのハンバーグ』

《下準備》

- ① 春キャベツは2センチ程度の千切りにし、分量外の少量の塩を加えてしんなりしたら水気を絞る。
- ② 玉葱はみじん切りにし、フライパンにサラダ油を熱し、薄茶色になるまで炒めて冷ましておく。
- ③ 人参は皮をむき、すりおろす。食パンは小さくちぎる。
- ④ スープの材料を煮立て、固形スープが溶けたらスープの半量（100ml）を食パンと合せて冷めます。残りはハンバーグを焼くときに使います。

《作り方》

- ① 合挽き肉・春キャベツ・玉ねぎ・人参・スープに浸した食パン・卵・塩・胡椒・ナツメグを粘りが出るまで混ぜる。
- ② フライパンにサラダ油をひいて弱火にかける。①を4等分にして形を整えフライパンに並べ入れる。
- ③ 強めの中火にして両面に焼き色を付ける。残りのスープ（100ml）を加え、煮立ってきたら弱火にし、蓋をして7〜8分蒸し焼きにし盛付ける。
- ④ ハンバーグを焼いたフライパンに、ソースの材料を入れてひと煮立ちさせ、ハンバーグにかける。

編集後記

今年は暖冬で寒暖差があまりなく、冬らしい気候を感じられることは少なかったように思います。寒いのが苦手な私としてはうれしいですが、子どもたちにとっては雪遊びができなくて残念だったことでしょうか。

第75号が発行されるころには梅の花や桜の花がちらほら咲いていることだと思えます。季節の移り変わりは早いものですね。

さて、今号の紙面についてですが、昨年の秋口にありましたふれあい祭りの内容を掲載しています。毎年、多くの方に協力いただいているからこそ、開催出来ていると常々感じております。

次に、新しく入職された職員のご紹介を掲載しており、今後にじの家を盛り上げていってもらええると思います。

今回も広報担当一同が協力して発行できたことを嬉しく思います。次号も楽しみに待っていてください。



【広報担当】

- 日隈 聡 ・ 阿部 晴香
- 時田 由依 ・ 樋口 春菜
- 赤井 直人 ・ 小林 果鈴